



大城 保  
議員



### 農業振興について

**質** 遊休化している農業用施設の戸数、面積は。

**答** 農林水産課長（宮平 寛）

36施設、面積約1万3千5百㎡です。

**質** 整備する施設は、1ヶ所に集約か、分散した施設かを伺う。

**答** 農林水産課長（宮平 寛）

恩納伊場地区の1ヶ所で予定しています。

**質** 受入れ人数決まっていますか。

**答** 農林水産課長（宮平 寛）

1名予定しています。

**質** 研修にかかる費用負担や研修生の待遇やサポートはどのように考えているのか伺う。

**答** 農林水産課長（宮平 寛）

新規就農者を条件に、最長3年間施設を無償貸与し県や農協、農業経営アドバイザー等、専門的な方々で自立に向けた指導をし、施設の修繕とか、水道光熱費、生産資材等は研修生の負担。

**質** 就農なら分かるんですが研修生で担い手を育成する事業です。ふるさとづくり応援基金事業を活用して研修生のサポートができると思うが、村長の考えを伺う。

**答** 村長（長浜 善巳）

担い手育成の大きな課題だと思っております柔軟に対応していきたい。

**質** 観光農園の市場調査とはどのような調査か伺う。

**答** 農林水産課長（宮平 寛）

既存施設を含めた観光農園の可能性、農業、生産から出荷の流れや作業を、修学旅行生を含めた観光客の方に体験を通して農家の所得向上につながるアンケート、聞き取り調査を考えています。

**質** 村として観光農園の整備計画があるのか。

**答** 農林水産課長（宮平 寛）

具体的な整備計画はありません。アフターコロナ後の観光の在り方、農業と観光の連携、地域の活性化を考えています。

### 赤間運動公園について

**質** プロ野球のキャンプ誘致活動の推進について現状と今後について伺う。

**答** 商工観光課長（山田 俊幸）

サムソンのキャンプ誘致活動に関する協定で、令和4年12月まで優先使用となっております。サムソンの今後の意向や村の意向も踏まえて協議を早急に進めていきたい。

**質** 去年、日本プロ野球の2球団から打診があったが、日本の球団の誘致活動についてはどのように行っていくのか伺う。

**答** 商工観光課長（山田 俊幸）

関係課と連携し協議しながら、方向性を決めていきたい。

**質** キャンプの条件が村内宿泊、ホテル業界、GM会との話し合いの下なのか

**答** 商工観光課長（山田 俊幸）

村の方針だと認識しています。

**質** プロ野球が来ると、マスコミ等、ファンの方々も宿泊し経済効果があると思う。ホテル業界も含めて前向きに取り組んでいただきたい。では次に、前回、指定管理委託契約のときに、人材を育成し、将来的には村内業者による指定管理を目指したいということ、それを期待して、議会は承認したが、その後村内の人材育成はできたのか伺う。

**答** 社会教育課長（長浜 健一）

総合的に判断し、まだまだ、運営は厳しいと考えています。

**質** 現在のはまゆうスポーツクラブから人材の派遣もあるのか伺う。

**答** 社会教育課長（長浜 健一）

事務員として1名の人員が派遣されておりましたが、婚姻、出産を機に退所され、代替人員の選考に苦慮していましたが、昨年4月1名の職員が派遣されています。

**質** プロを誘致するには、それなりの施設の管理が必要だと思います、今後の指定管理に向けてどのように進めていくのか伺う。

**答** 社会教育課長（長浜 健一）

近隣市町村や、他の状況を参考にしながら、新年度の早い時期に募集内容等や審査方法を慎重に検討していきたい。

### 施政方針について



吉山 盛次郎  
議員



**質** コロナ禍において学力の低下が危惧されます。学力においてコロナ禍以前と数字で示してください。

**答** 学校教育課長（仲村 泰弘）

3年間の県実施学力調査では、5年生国語が常に県平均を上回っています。算数で今年度若干県平均を下回っています。算数で今年度若干県平均を下回ってしまいました。6年生国語、算数も常に県平均を上回っている。中学校1年生は国語で常に県平均を上回っています。2年生では国語は常に県平均を上回っている。数学は中学生になってから県平均を下回っています。3年生は国語、数学でもマイナス、しかし数学の最新の結果では2ポイントプラスと課題解決となりました。

**質** 豊かな表現力と粘り強さ云々がありますが、いかにすれば獲得できるのか。

**答** 学校教育課長（仲村 泰弘）

言語に対する関心や理解を深め言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語教育を推進しています。「ねばり強さ」の育成は社会の一員として個性の伸長に必要なことを「習慣化」や「獲得できるように繰り返し行う」ことを通して最後までやり抜く力の育成に取り組んでいる。

**質** いじめ、不登校の実数と対応。

**答** 学校教育課長（仲村 泰弘）

いじめは、小学校7件。中学校1件。対応としてはアンケートの実施と全教職員による観察等を通して把握を行っている。校内いじめ防止対策委員会が中心となり解消するまで指導している。不登校は、小学校6名、中学校8名。魅力ある学校づくりを推進している。

**質** 学校給食の小学校の給食費免除についてその継続に問題はないのか。

**答** 学校教育課長（仲村 泰弘）

小学校の学校給食費の免除は新型コロナウイルス感染症対策に伴う緊急の子育て支援として学校給食費を免除。令和4年度も免除を実施していく。

**答** 農林水産課長（宮平 寛）

具体的な整備計画はありません。アフターコロナ後の観光の在り方、農業と観光の連携、地域の活性化を考えています。

### 赤間運動公園について

**質** プロ野球のキャンプ誘致活動の推進について現状と今後について伺う。

**答** 商工観光課長（山田 俊幸）

サムソンのキャンプ誘致活動に関する協定で、令和4年12月まで優先使用となっております。サムソンの今後の意向や村の意向も踏まえて協議を早急に進めていきたい。

**質** 去年、日本プロ野球の2球団から打診があったが、日本の球団の誘致活動についてはどのように行っていくのか伺う。

**答** 商工観光課長（山田 俊幸）

関係課と連携し協議しながら、方向性を決めていきたい。

**質** キャンプの条件が村内宿泊、ホテル業界、GM会との話し合いの下なのか

**答** 商工観光課長（山田 俊幸）

村の方針だと認識しています。

### 美留の海岸樹木伐採について

**質** 住民の承諾の確認、住民とは誰なのか。

**答** 建設課長（屋良 朝也）

地元の意見を重視することを一番に考えている。

**質** 住民の合意が基本だと言われました。その住民とは誰ですか。塩屋区民ですか。美留住民ですか。

**答** 建設課長（屋良 朝也）

美留の住民を一番重視したいと考えています。

